

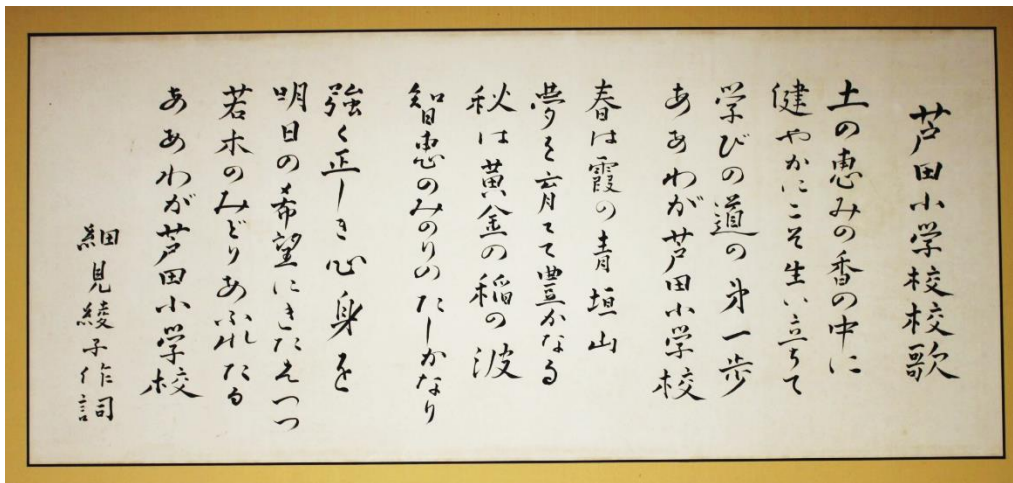
# 啐 啄 同 時

平成 27 年 6 月

校長室だより

## 学校教育目標「大好き芦田 大好きみんな 大好き自分」

前回、細見綾子と芦田小学校の校歌について、書かせて頂きました。先日、校長室の資料を整理していると安井威彦校長の「校歌誕生史」を発見しました。目を通してみると安井校長の校歌制定への溢れんばかりの熱き想いが伝わってきました。個人的なものともいえますが、この芦田小学校の校歌制定に託された想いを感じ取っていただきたく、今回掲載することにしました。



←  
細見綾子先生  
直筆の校歌  
(校長室に掲示)

## 安井威彦校長の「校歌誕生史」(S41.2.20)より

本校は創立93年を迎え、歴史も深き学校にして明治6年高座簡易学校よりはじまり、佐治川の清き流れにそいて、芦田地区の中央に位置している。

この歴史ある学校に「校歌」として歴史をそなえ定まったものがなく、事あるごとに淋しく感じていた。社会見学などに行く途中、バスの中にて車掌さんより「校歌を歌ってください」と言われても、「僕たちの学校には校歌がありません」と言葉静かに答えるのでした。其の都度又行事の都度、何とか定まった校歌を制定したいと、これがこの母校に勤める校長としての私の念願であった。



校歌発表会で挨拶する安井威彦校長

学校の整備 其の外の校務で日々考えつつもその実現は容易でなかった。

昭和40年の正月元旦、私の今年度の学校経営の一つの実践として、校歌を何としても作り上げねばならんと強い決意をもった。作詞についてどうしよう。作曲についてどうしよう。

一般から募集しようかとも強く考えてみたが、校歌となれば芦田小学校が存在する限り口ずさまれる尊い歌である。よほど考慮が必要であると考えた。

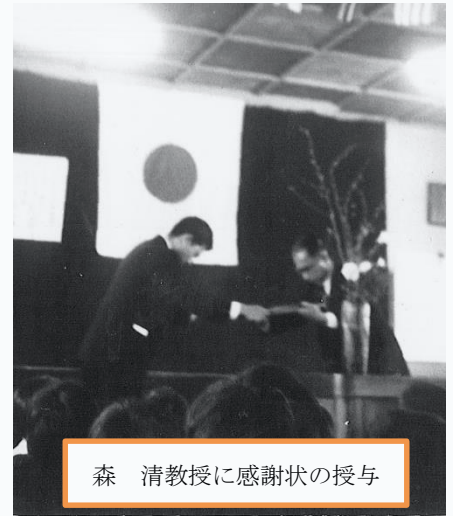
ふと頭に浮かんだのは芦田小学校卒業生 細見綾子先生(東京女子大卒)日本女流作詩家として近代世に知られ名声の高いこの人この先生にお願いしてみようと考えた。

早速、昭和40年の夏休み、墓参りのため東芦田、細見氏宅にお帰りの時を見て訪問、その想いを話したところ、「よろこんで、私の名誉」と引き受けてくださった。

昭和40年10月の末には其の歌の歌詞は出来上がり、早速、東京より送って頂きました。

実に校歌としてふさわしい歌詞にて、武庫川大学文学博士井上教授も「こんな立派な歌詞はあまり見たことがない」との賞揚の言葉を得たのであった。うれしい極みであった。

作曲はどうしよう。やはり**本校出身**武庫川大学院長**公江喜市郎先生**にお願いをと学院を訪ねた。公江先生も「ヨシ、自分の母校の校歌だ。引き受けて作曲しよう」とよろこんで承諾頂いた。校歌の誕生も実に美しい母校愛の結晶によって一步一步と前進しゴールインに近づいてきた。武庫川大学音楽科森清教授の手によって作曲されることとなった。然し森教授は時折悪くして、神経痛にて学院も休講の折柄、公江院長の母校の校歌であるからと病床の身もいとわず作曲にご努力下さり、昭和40年12月20日、その曲は出来上がり、公江院長より手渡しを受けた時12月20日午後3時。院長室でのうれしい一瞬であった。早速、荻野事務局長のご厚意により、河上敬三教授の手によって曲を弾いていただき「明るい伸び伸びとした名曲、小学校校歌として実によくできている」と名評を得てうれしく、その曲を頂き持ち帰った。……中略……そして、昭和41年2月20日、校歌発表会の開催についても大変なご苦勞が記るされています。……



森 清教授に感謝状の授与

(最後に、安井校長の芦田小学校に対する熱い想いが綴られていました)

芦田小学校 永久に栄えあれ 世界の日本として  
育てあげる底力ある 骨も身も堅固で涙ある  
正しい美しい社会を作り上げる 社会人として力と素養を  
小さい時よりからだ全身にしみこませ  
すくすく伸びていかんことを 祈りて筆をおさめる

昭和41年3月31日 芦田小学校長 安井 威彦

※ しかし、校歌にはまだ、「秘話」がありました。それは、来年5月に掲載いたします。

## 芦田っ子の「きらり俳句コーナー」

こいのぼり 空をたべてる うらやましい	(2年 かずま)
春の空 きもちよさそう ぼくもだよ	(2年 あおと)
お父さん 母の日ぜんぜん 気にしない	(3年 しゅな)
母の日に まよってまよって ありがとう	(3年 のあ)
こいのぼり よそのお家で そよそよと	(4年 ふうか)
こいのぼり いきおいついて つかれてる	(4年 かれん)
今日もまた そら豆ごはん 豆づくし	(5年 りゅうせい)
もう一度 あなたの家に つばめより	(5年 りの)
雨あびて 旅を続ける かたつむり	(6年 たける)
衣がえ 長そでバイバイ ぼく変わる	(6年 けいと)

今月より、この校長室  
だよりに、子どもたち  
が毎月作る「俳句」の  
中から、「きらり」と光  
る俳句を選出し掲載し  
ていきたいと考えてい  
ます。

お楽しみに！！



